

平成28年度教育研究活動報告書

氏名	灰谷謙二	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	修士（文学）	職位	教授
専門分野	日本語学（現代語）		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	日本語学概論、 日本語学講義Ⅱ、 日本語学講義Ⅳ、 現代語学専門演習 a 現代語学専門演習 b タイポグラフィー 卒業論文（構想・準備） 卒業論文（制作）		
大学院	日本語学特講、 日本語学演習 日本文学・言語文化総論 研究指導（論文指導）		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
（1）〈著書〉『瀬戸内海事典』H19南々社（共著）			
（2）〈著書〉日本のことばシリーズ32 島根県のことば H20明治書院（共著）			
（3）〈著書〉『出雲弁検定教科書』H20 ワンライン（共著）			
（4）〈論文〉「田畑からの帰り道でのあいさつ」にみられる表現発想と都市化 『柳田方言学の現代的意義』ひつじ書房（H26/6月刊行予定）			
（5）〈論文集〉『西日本海域方言における”海上ネットワーク”検証のための記述的・理論的研究』平成21～23年度科研費基盤研究（C）一般 研究代表者			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
（1）〈論文〉「田畑からの帰り道でのあいさつ」にみられる表現発想と都市化 『柳田方言学の現代的意義 あいさつ表現と方言形成論』ひつじ書房（H26/7）			
（2）〈論文〉小津安二郎『東京物語』における尾道方言使用の意味 『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第12号 2013			
（3）〈論文〉隠岐島二地点方言の風位語彙と漁場特定語彙－中村と西郷にみられる地理的環境の比較から－ 『西日本海域方言における”海上ネットワーク”検証のための記述的・理論的研究』平成21～23年度科研費基盤研究（C）一般 研究成果報告書			
（4）〈論文〉漁場の地理的環境と漁場特定語彙 『尾道大学日本文学論叢』第7号2011			
（5）〈論文〉長崎県対馬市美津島町方言の漁場特定語彙－ヤマアテにみられる開放系漁場の特徴－ 『尾道大学芸術文化学部紀要』第10号2011			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）中国地方方言における伝播の整流と偏流 H25～27科研費基盤C一般 採択			
（2）国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」参画			
（3）日本方言におけるあいさつ表現の成立と伝播			
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
日本語学会、日本音声学会、広島大学国語国文学会、			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
（1）国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」共同研究員			
（2）尾道市廃棄物減量等審議会			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称		
（1）尾道市関係	漫画大賞審査員 尾道市廃棄物減量等審議会		